

Google AI モードが日本語でも利用可能に(まだ展開中)

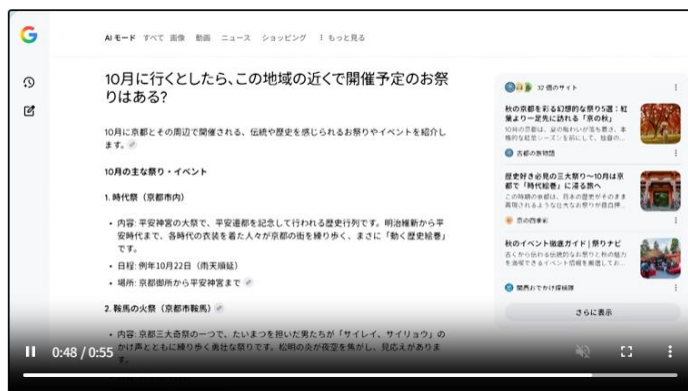
Google は、日本語での AI モードの提供を開始した。

Google は、日本語での AI モードの[提供を開始](#)しました。

新たに 5 言語をサポート

AI Mode 自体は[日本を含む 180 以上の国と地域で 8 月にすでに導入](#)されていましたが、サポートする言語は英語でした。

ようやく日本語での利用が可能になりました。



なお、日本語のほかには次の 4 言語もサポートします。

- ヒンディー語
- インドネシア語
- 韓国語
- ポルトガル語(ブラジル)

Google AI モードが日本語でも利用可能に(まだ展開中)

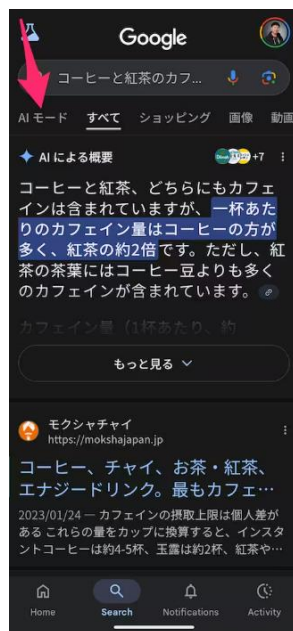
Google は、日本語での AI モードの提供を開始した。

ロールアウト中

日本語 AI モードは次のツールで利用できます。

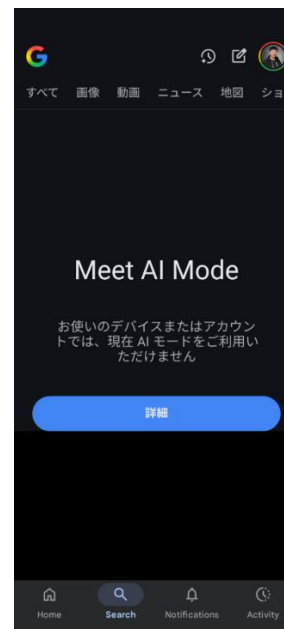
- PC のブラウザ
- モバイルのブラウザ
- Android 版 Google アプリ
- iOS 版 Google アプリ

Google アプリでは「AI モード」タブが表示されます。



ブラウザでは、次の URL から AI モードにダイレクトにアクセスできます。

- google.com/ai
- www.google.com/search?udm=50



しかし、この記事を書いている時点で僕の環境では日本語での AI モードをどのアカウントでもまだ確認できていません。

Google AI モードが日本語でも利用可能に(まだ展開中)

Google は、日本語での AI モードの提供を開始した。

IT ジャーナリストの[西田宗千佳氏によると](#)、

9月9日午前1時から随時導入され、今後数週間のうちに、対象国のすべての利用者へと順次展開されていく。

とのことですよ。

一斉に展開というわけではないようです。

使えるようになったら改めて報告します。



いよいよですね。

最近、(英語での)AI Mode もちょくちょく利用していました。

Gemini や ChatGPT との使い分けにちょっと悩みます。

手持ちの環境で利用できるようになったら、ご自身でもいろいろ試してみてください。

それまでは、こちらの記事で日本語版 AI モードを予習しておくといいでしょう。

- [Google 検索の AI モードを日本語で提供開始します](#)
- [Google検索「AIモード」がついに日本語対応。急浮上する「品質」と「広告」問題](#)

Google AIモードを日本語で使ってみた。ハルシネーションも発生

日本語での AI モードのやり取りを紹介する。

[Google 検索での日本語をサポートする AI モード](#)の展開が始まったことを昨日の記事で報告しました。

ゆっくりと展開しているらしく昨日の時点では確認できなかったのですが、シークレットモードを何度も試しやっと遭遇できました。
この記事では、日本語での AI モードのやり取りを紹介します。

AI モードと日本語でやり取り

ダブリンの1日観光のプランを考えてもらいました。

いくつかの条件も付けています。



10 月に[ダブリンに本当に行く](#)ので参考にします。

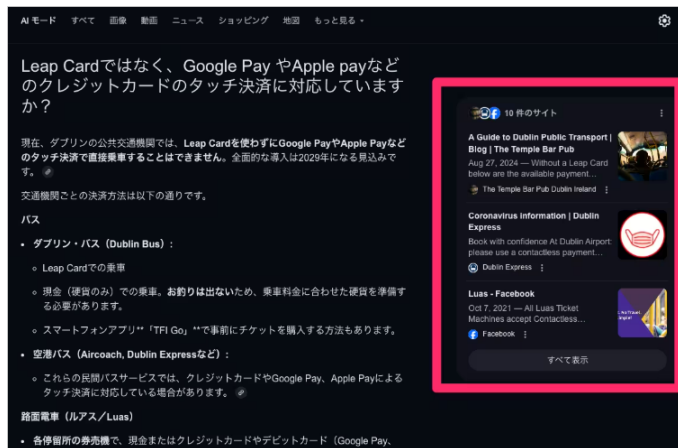
AI Overview とは異なり、会話を継続できます。

Gemini と同じですね。

公共交通機関の料金をタッチ決済で支払えるかどうかを聞きました(ダブリンでは Leap Card というチャージ式の物理カードが普及している)。

Google AIモードを日本語で使ってみた。ハルシネーションも発生

日本語での AI モードのやり取りを紹介する。



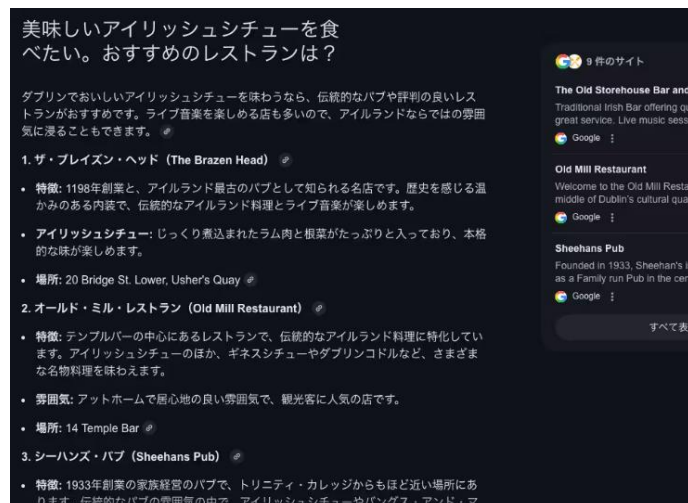
前の会話のコンテキストを引き継いでいるので、会話がスムーズに進むのは良いですね。

参照先のコンテンツは日本語とは限らず英語の場合もあります(赤の右枠)。
言語にとらわれない点も強みです。

ハルシネーションも

LLM に付きもののハルシネーションも依然として発生します。

※すずきメモ:余談だけど、ハルシネーションが発生する原因を [OpenAIが発見した](#)
アイリッシュシチューを食べられるレストランを探してもらいました。



Google AIモードを日本語で使ってみた。ハルシネーションも発生

日本語での AI モードのやり取りを紹介する。

ここまでは問題ないのですが、終わりに出てきたマップに問題があります。



左の「[QUAYS pacific grill](#)」は、ダブリンではなく横浜にあるレストランです。
しかも、メニューを見る限りではアイルッシュシチューは提供されていませんでした。

右の「ザ・オールド・ミル」にいたっては、アメリカにある「史跡」です。
もはや、レストランですらありません。

ダブリンにある [Old Mill Restaurant](#) というレストランと米国アリゾナ州にある [The Old Mill](#) という史跡を、名前が被っているため取り違えたようです。



辻さんも、AI モードのハルシネーションを発見しています。

AI Mode は試験機能なので今後の改善を Google に頑張ってもらうしかありません。
それでも全体的には、求めている回答を日本語の AI モードも返してくれているように思えます。
今後の改良にも期待です。

普段の Google アカウントでは日本語版 AI モードをまだ利用できておらず、早く使ってみたいという人はシークレットモードを繰り返し起動してみると遭遇できるかもしれません。

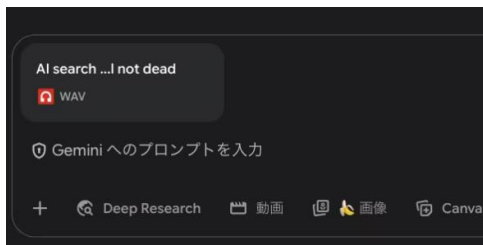
Geminiアプリが音声と動画ファイルのアップロードをサポート

Gemini が、音声ファイルと動画ファイルのアップロードをサポートした。

Gemini が、音声ファイルと動画ファイルのアップロードをサポートしました。

ほとんどのファイル形式をサポート

テキストファイルやドキュメントファイル、画像など多く形式のファイルを Gemini ではこれまでアップロード可能でしたが、音声ファイルと動画ファイルはサポートしていませんでした。現在は、音声・動画も含めてほとんどのファイル形式をサポートします。



WAV ファイルを Gemini にアップロード

次のような制限があります。

- 最大 10 ファイルを同一のプロンプトにアップロードできます。
- 動画のサイズは 1 ファイルにつき最大 2 GB です。その他のサポートされているファイル形式のファイルについては、それぞれ 100 MB まで対応しています。
- 動画の長さは合計 5 分までです。Google AI Pro または Google AI Ultra にアップグレードすると、合計 1 時間までの動画をアップロードできます。
- 音声の長さは合計 10 分までです。Google AI Pro または Google AI Ultra にアップグレードすると、合計 3 時間までの音声をアップロードできます。

無料ユーザーだと短めの音声・動画しかアップロードできませんが、有料ユーザーであれば十分な長さだと言えるでしょう。



SEO とは関係ないトピックですが、個人的に嬉しい改良だったので取りあげました。

音声ファイルを処理したいときは、今までは AI Studio を使っていました。

不自由を感じていたわけではありませんが、開発者向けツールなので UI が込み入っています。

コンシューマー向けの Gemini の方が一般用途では使いやすいのです。

Googleが検索品質ガイドラインを更新、YMYLの社会カテゴリを「政府・市民・社会」へ拡張・明確化

Google は、検索品質ガイドライン（Quality Rater Guidelines）を更新した。

Google は、検索品質ガイドライン（[Quality Rater Guidelines](#)）を更新しました。

[前のバージョン](#)の発行日は 2025 年 1 月 23 日で、最新バージョンの発行日は 2025 年 9 月 11 日です。

約 8 か月後の更新です。

変更の概要

今回の更新は、YMYL(Your Money or Your Life)トピックの定義の明確化にほぼ限定して焦点を当てた、非常に的を絞ったものです。

社会的な危害、特に市民活動や政府に関する分野のコンテンツが高い危害のリスクを伴い、最も厳格な基準で評価されなければならないことを、評価者に対してより明確に Google は示しています。

- **市民活動関連トピックのための YMYL カテゴリの明確化:** ガイドラインは、曖昧だった「**YMYL Society(YMYL 社会)**」カテゴリを、より明確で実用的な「YMYL Government, Civics & Society(YMYL 政府、市民活動、社会)」カテゴリに置き換えました。この変更は、情報が公共の生活や公的機関にどのように影響を与えるかという点に特化した注力を示すものです。
- **選挙および投票に関する情報の YMYL トピックとしての明示:** 新しい定義では、「election and voting information(選挙および投票に関する情報)」が YMYL トピックとして具体的に挙げられています。これは評価者に対し、投票の方法、時期、場所、そして選挙プロセスの完全性に関するコンテンツを最高レベルの厳格さで扱うよう直接指示するものです。
- **危害に基づくフレームワークがより規範的に:** YMYL を特定するための全体的なフレームワークは引き続き潜在的な危害の評価に基づいていますが、今回の更新では市民社会への危害に関する定義がより正確になりました。「人々の生活に影響を与える」政府や社会に関するあらゆる情報コンテンツを含むように範囲を拡大し、これらの分野における正確性と信頼性が検索品質にとって最重要であることを強調しています。

一方で、E-E-A-T に関するガイダンスには実質的な変更はありません。

Trust の最優先性や利益相反の具体例など、中核となる説明は従来どおり維持されています。

同様に、スパムポリシー(大量コンテンツ生成、サイトの評判の不正使用など)の事例も引き続き掲載されており、目立つ変更はありません。

Googleが検索品質ガイドラインを更新、YMYLの社会カテゴリを「政府・市民・社会」へ拡張・明確化

Google は、検索品質ガイドライン（Quality Rater Guidelines）を更新した。

詳細な変更履歴

概要で説明したように、実質的には、1 つの主要な変更に絞られた更新でした。

具体的には、11 ページの「セクション2.3:Your Money or Your Life (YMYL) Topics」です。

旧ガイドライン（2025 年 1 月版）:

YMYL Society: Topics that could negatively impact groups of people, issues of public interest, trust in public institutions, etc

YMYL 社会: 人々の集団、公共の利益に関する問題、公的機関への信頼などに悪影響を及ぼす可能性のあるトピック

新ガイドライン（2025 年 9 月版）:

YMYL Government, Civics & Society: Topics that could negatively impact groups of people, issues of public interest, trust in public institutions, election and voting information, and any other informational topics about government, civics or society that impacts people's lives.

YMYL 政府、市民活動、社会: 人々の集団、公共の利益に関する問題、公的機関への信頼、選挙および投票に関する情報、その他人々の生活に影響を与える政府、市民活動、社会に関するあらゆる情報トピックに悪影響を及ぼす可能性のあるトピック

2.3 Your Money or Your Life (YMYL) Topics

Pages on the World Wide Web are about a vast variety of topics. Some topics have a high risk of harm because content about these topics could significantly impact the health, financial stability, or safety of people, or the welfare or well-being of society. We call these topics "Your Money or Your Life" or YMYL.

YMYL topics may significantly impact or harm one or more of the following:

- the person who is directly viewing or using the content
- other people who are affected by the person who viewed the content
- groups of people or society affected by the actions of people who viewed the content

YMYL topics can directly and significantly impact people's health, financial stability or safety, or the welfare or well-being of society, because of the following reasons:

- **The topic itself is harmful or dangerous.** For example, there is clear and present harm directly associated with topics related to self-harm, criminal acts, or violent extremism.
- **The topic could cause harm if the content is not accurate and trustworthy.** For example, mild inaccuracies or content from less reliable sources could significantly impact someone's health, financial stability, or safety, or impact society, for topics like: symptoms of a heart attack, how to invest money, what to do if there is an earthquake, who can vote, or needed qualifications for obtaining a driver's license.

To determine whether a topic is YMYL, assess the following types of harm that might occur:

- **YMYL Health or Safety:** Topics that could harm mental, physical, and emotional health, or any form of safety such as physical safety or safety online.
- **YMYL Financial Security:** Topics that could damage a person's ability to support themselves and their families.
- **YMYL Government, Civics & Society:** Topics that could negatively impact groups of people, issues of public interest, trust in public institutions, election and voting information, and any other informational topics about government, civics or society that impacts people's lives.
- **YMYL Other:** Topics that could harm people or negatively impact welfare or well-being of society.

Googleが検索品質ガイドラインを更新、YMYLの社会カテゴリを「政府・市民・社会」へ拡張・明確化

Google は、検索品質ガイドライン（Quality Rater Guidelines）を更新した。

SEO への影響

今回の変更は、市民参加や政府機能、選挙に関連するコンテンツの重要性を高め、リスクと品質基準の観点から、健康や金融に関するコンテンツと同等のものとして位置づけています。

選挙や投票手続き、公的機関、政府の政策などに触れるコンテンツはすべて、最も厳格な YMYL の観点から評価されます。

この種のコンテンツが高品質と評価されるためには、公式で権威ある情報源(例:政府のウェブサイト、確立された超党派の市民団体)から発信されるか、直接裏付けられている必要があります。

E-E-A-T、特に「権威性」と「信頼性」が品質の主要な評価基準となるでしょう。

Google検索が&num=100パラメータを廃止、SEOに与える影響は？

Google は、100 件の検索結果を表示できる &num=100 パラメータを無効にした。

Google は、100 件の検索結果を表示できる &num=100 パラメータを無効にしました。

[先週後半あたりから](#)のようです。

num パラメータは、= の後に続く値(数字)で検索結果の表示件数を指定するパラメータです。

&num=100 を検索結果の URL に追加することで、100 件の検索結果を 1 ページにすべて表示できます。

検索結果の表示件数は以前は検索設定で変更できたのですが、たしか[連続スクロール](#)が導入されたタイミングでなくなりました(連続スクロールは現在は[廃止](#))。

しかし、num パラメータでの件数調整は依然として有効のままでした。

&num=100 廃止が SEO に与える影響

検索結果はデフォルトでは 10 件表示です。

おそらく、大多数のユーザーはこのまま利用しているはずです。

したがって、&num=100 が廃止されても困ることはありません。

しかし、SEO 観点では問題が生じます。

Google検索が&num=100パラメータを廃止、SEOに与える影響は？

Google は、100 件の検索結果を表示できる &num=100 パラメータを無効にした。

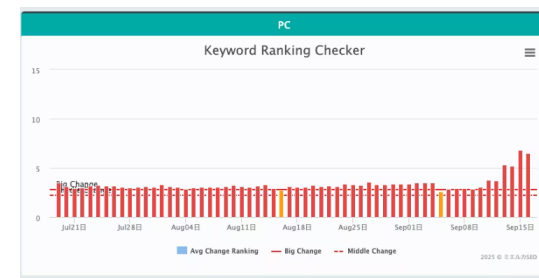
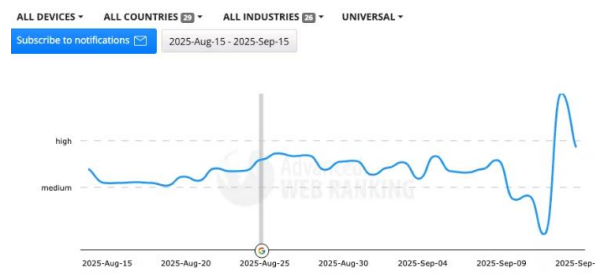
ランキングチェックツール

多くのランキングチェックツールは &num=100 のパラメータを利用して 100 件の検索順位を一括で取得しています。

このパラメータが無効になると、10 件の検索結果しか取得できません。

結果として、従来とは異なる条件のもとでのランキングチェックになります。

ツールによっては異常な変動を示しています。



実際には検索システムの変更による変動ではなく、従来の順位取得が正常に実行できなくなったことに起因する見た目だけの変動です。

Search Console のインプレッション

ランキングチェックツールで順位取得していないければ、&num=100 パラメータの影響は無関係かというところということでもありません。

ランキングチェックツールは、自動化とはいえ、検索して順位を取得しています。

そして、検索結果が生成されるということはツールであってもインプレッションにカウントされます。

これが、不正確なレポートを引き起こします。

自分のサイトのページが、あるクエリで 95 位前後をうろついていたとしましょう。

検索結果の 9 ページ目です。

人間の検索ユーザーの目に触れる機会は、まあ、ほぼありませんね。

Google検索が&num=100パラメータを廃止、SEOに与える影響は？

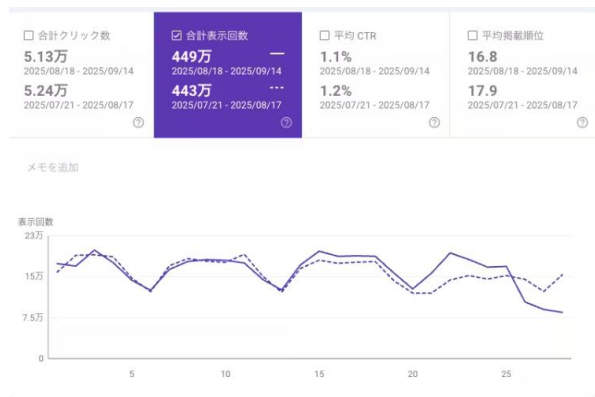
Google は、100 件の検索結果を表示できる &num=100 パラメータを無効にした。

ところが、&num=100 で 100 件表示にしているランキングチェックツールの検索結果では表示されてしまうのです。
つまり、Search Console ではインプレッションにカウントされます。

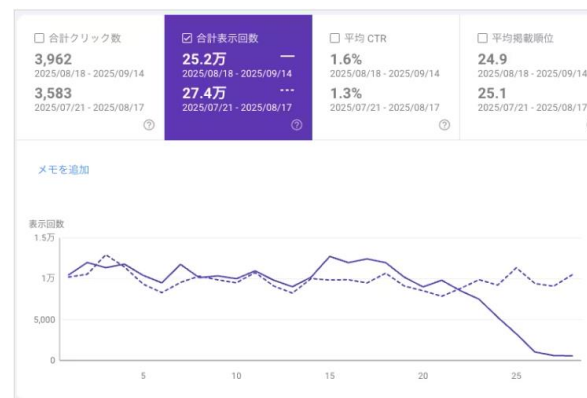
Search Console の検索パフォーマンスレポートのインプレッションが、ここ数日で大幅に減少していたとしたら、&num=100 の無効化が原因の可能性があります。

直近 28 日間とその前の 28 日間のインプレッションを比較しました(曜日はそろえてある)。
実線が直近 28 日で、点線がその前の 28 日です。

数日前から、インプレッションが減っているのがわかります。



こちらのサイトのインプレッション減少はさらに顕著です。



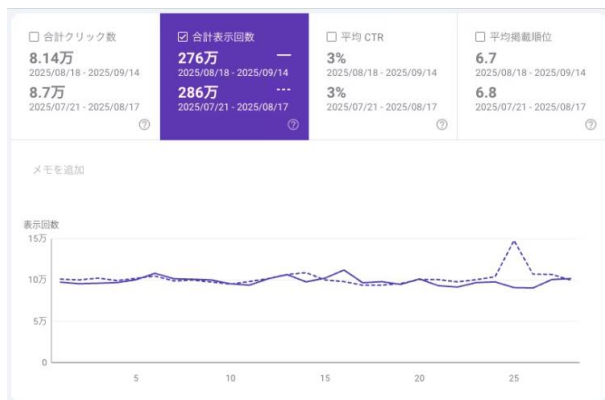
Google検索が&num=100パラメータを廃止、SEOに与える影響は？

Google は、100 件の検索結果を表示できる &num=100 パラメータを無効にした。

クリックも減っていれば本当にランキングが下がった可能性もありますが、インプレッションだけが減ったのであれば、ランキングチェックツールの順位チェックが濃厚そうです。

とはいえ、すべてのサイトのインプレッションが影響を受けているということでもありません。

変化が見られないサイトもあります。



自分のサイトの状況を調べてみてください。



AI 検索が普及するにツールによるランキングチェックがよりいっそう盛んになりました。

これが、インプレッションの水増しに拍車をかけているようにも思えます。

ただ、ランキングチェックツールを提供する各社が、早くも &num=100 無効化に対応する動きを見せています。

Google が根本的に対処しない限りは、Search Console での正確なレポート取得には今後も支障が出そうです。